

2020 年 10 月 21 日
オプテックス・エフエー株式会社
販売促進室

食品業界のトレーサビリティやネットワーク化に対応した 印字検査用画像センサ「GVS-OCR」を発売

オプテックス・エフエー株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長：中島達也）は、2020年10月21日、食品業界向けの印字検査用画像センサ「GVS-OCR」を発売します。

「GVS-OCR」は、食品包装上に印字された賞味期限や消費期限、ロット番号や製造所固有記号などの表記内容を、包装機械や製造ライン上で検査ができる文字認識カメラです。

＜暗号化された製造情報の検査も可能（当社独自機能）＞

現在、食品業界では廃棄ロスの観点から賞味期限表示を「年月」までに簡略化する動きがあります。一方でトレーサビリティ対策として日付や時刻、ライン番号などの製造情報を暗号化して印字するケースが増えています。「GVS-OCR」では、こうした暗号化された製造情報も内部のカレンダー機能と連動して印字検査を行うことができます。

＜ネットワーク化への対応＞

Ethernet通信機能の搭載により、上位クライアントへ検査画像を送ることが可能で、近年進むネットワーク化による情報の一元管理に対応します。また業界初※Webサーバ機能の搭載により、専用のソフトウェアを使わずWebブラウザ上でパソコンやタブレットPCでの設定操作を可能。オフィスからでも画像センサの稼働監視や設定変更が可能です。

さらに検査対象の印字を簡単登録できる3ステップティーチングや、経験や勘によるピント調整を不要にするフォーカス調整機能など、作業者が簡単に設定や調整を行える機能を搭載しました。また当社独自機能として、バーコードリーダとの連携で品種を切替え、品種に応じた設定で印字検査が行えるバーコードリンク機能を搭載しています。

撮影距離・視野別に標準タイプと広角タイプの2型式を用意し、オプションとして専用モニター「GVS-MN」も同時発売いたします。価格はいずれもオープン価格です。

※印字検査用画像センサにおいて

■製品外観

右：GVS-OCR

（カメラ部）

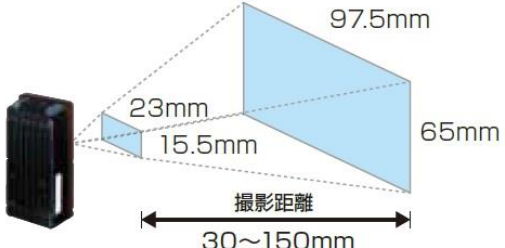
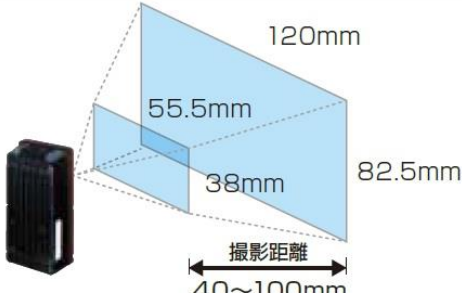
左：GVS-MN

（モニター部・
オプション）

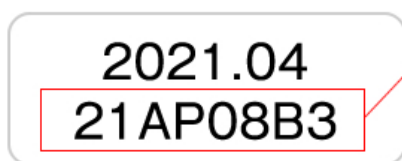


■GVS-OCRラインアップ

カメラ

種 類	画 角	撮影距離と撮影視野	インターフェース	型 式
標準 タイプ	20°		制御出力×4点 外部入力×6点 Ethernet	GVS-OCR-S
広角 タイプ	40°			GVS-OCR-W

■暗号化（コード化）された製造情報の印字例



2行目:コード化されたロット番号

21 AP 08 B 3
西暦年+月+日+生産時間帯+包装機番号

内容:2021年4月8日の11:00~12:00の時間帯に3番包装機で生産

■国内販売数目標（年間）：1500 台

■主要販売先：食品、飲料、包装、医薬品、化粧品業界

■会社概要

オブテックス・エフエー株式会社

商号：オブテックス・エフエー株式会社

所在地：京都市下京区中堂寺栗田町 91 京都リサーチパーク 9 号館

設立：2002 年 1 月 7 日

代表取締役：中島 達也

資本金：385,000 千円（2019 年 12 月 31 日）

事業内容：ファクトリー・オートメーション用光電センサ関連機器、装置の企画開発・製造・販売等

売上高：71 億 41 百万円（連結）（2019 年 12 月期）

従業員数：234 名（連結）（2019 年 12 月 31 日現在）

【本件に関するお問合せ先】

オブテックス・エフエー株式会社

販売促進室 石谷 高宏（E-mail: fa@optex-fa.com）

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町 91 京都リサーチパーク 9 号館

TEL: 075-325-2922 FAX: 075-325-2921

URL: <https://www.optex-fa.jp>